

野津原方言調査会と学生との学術的交流機会の創出

～『野津原方言集』20巻の電子テキスト化と方言研究を通じて～

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
教授 松田 美香
2年 奥野 美咲、甲斐 麻奈未、
川口 玲奈、中本 学

1. 地域の課題：若年層人口の激減に伴う方言・文化の衰退
2. 取り組み：『野津原方言集』の電子化、交流会、方言ポスター作成
3. 参加学生数：29名
4. 実施期間：令和3年7月～令和4年1月
5. 成果物：『野津原方言集』電子データ（20巻分）、
ポスター「大分の『野津原方言集』大学生が残したい方言シリーズ」（10パターン）

『天狗と鬼の約束』

大雨が降るタンビ山水が オオゴト流れデチ 畑をアラス
モンジャキ 里人たちはコマッコツタ。天狗はそれを見
ると 『なんとかデケメカ』ち いろいろ考えヨツラ
力持ちん鬼の事が **ヒョカット**頭に浮かんだ。『ソツジャ鬼
ん力を借ろう』 ある日のこと鬼に話した。

『3日間に88ん谷を作ったら 食べ物に不自由サセンガ
カセイシチ クレマイカ』相談受けた鬼は考えヨツガ
『コリヤマ儲け仕事じゃ』ち 合点すると『約束スレデ』
これじ 話がまとまったから 天狗も里の人たちに話した。
里の人たちもおおよろこび 『コレジ鬼も ワヤクハセンゴ
ト ナルジャロウ』 みんなが喜クウダ。



11月4日：学生たちが「気になる方言」の含まれた物語を朗読していただく



令和3年7月29日：野津原方言調査会の方に、Zoomで疑問点を質問



12月9日：別府大学で交流会で行う。グループ毎にプレゼンテーションし、たくさんのコメントをいただく



11月4日～12月9日：残したい方言のポスター作成と並行して、野津原方言の保存・継承のアイデアをグループワークでまとめる



令和4年1月21日～：別府大学駅の掲示板にて、順次ポスター掲示中！

